



下京世三區八坂上清水三丁目

雨師法井柳塘ハ他処へせざる

行跡甚多此家不身を寄

を守るに小主の許りかこ世

てふを合して此男家内へよんでさうさうさうさう

對トはさう養ひ金見るより男ハ惡念ヲ致ス一入り赤麻徳

女房のみさるふ

捐とさうさへ

真心をよひつゝをさうさへ

心の悪エとて此男八金を我が物か

とさうさへ不仕果うの備分あり

一ト腰 不若母と毒子高令世ハ

轉變のせらふハ夜のはめと

切書し金と我眼を棄つとて家

火をみ迎んとせしも早く聞て

縛られり是の家のまき柄か

蛇と噛むを殺せし丸の事を

引出せし長物せりハ省て記ス

女花藻入誌

さら武田信とて男妻子とてに留ま

一對ハ古御を思ふかあまの

真心をよひつゝをさうさへ

てくとれおさへの悪風を

てくとれおさへ

新聞圖會 第九

小作散三
妻信金

市平三

八尾善好

